

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
モンシロチョウ	シロチョウ科	代表的なシロチョウ	○	◎	○	全国



多摩川土手 稲田堤 7月初旬



多摩川土手 中野島 6月末 アレチハナガサで吸蜜



生田緑地 4月下旬 アブラナに飛来



ウスバシロチョウ 坊村 (比良登山口) 5月下旬 レンゲで吸蜜

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草	食樹		発生回数/年			越冬形態					
キャベツ、アブラナほか			5~7			蛹 (さなぎ)					

数が多いのであちこちで目立つ蝶です。キャベツの害虫として悪名高く、稲の害虫とされるイチモンジセセリと並んで小学校の理科ですり込まれた記憶があります。キャベツ、アブラナ(菜の花)などを食草としているので童謡の「ちょうちょう」に出てくる「菜の葉」にとまるのはこの蝶と考えるのが自然ですが、「菜の葉に飽い」ても、「桜」にはとまりません。桜にとまるのは早春型のギフチョウ、ミヤマセセリ以外では殆ど見たことがないので、個人的には「桜にとまれ」という願望だろうと解釈しています。

モンシロチョウはモンキチョウと並んで代表的なシロチョウ科の蝶ですが、まぎらわしいのが「ウスバシロチョウ」、「ウスバキチョウ」。ともにアゲハチョウ科に属していて、残念ながら二種ともこの周辺ではみられません。



ウスバキチョウ 大雪山 白雲沢 7月中旬